

新シリーズ

「私の森林語り」
もりかた森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。

「自然のぬくもりを

くらしの中に」

酒井産業株式会社
代表取締役社長
さかい けいたろう
酒井 慶太郎

■自己紹介

木曽漆器を生業に創業八十五年、現在酒井産業四代目を継承しています。

酒井産業は、木曽谷をベースに産地問屋として全国の木竹加工工場と連携。工場は、北は北海道（松・白樺）、南は四国、九州（松・杉・竹）まで約百箇所。一般家庭で使用する木竹製品の取り扱いを概ね網羅するに至ります。

■活動内容

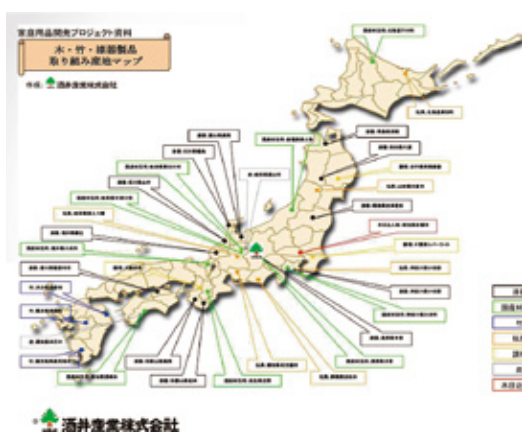
「慶太郎くん、あなたには誰もついて行かないよ」

帰郷から二年後、父と私が意見の相違で揉めているのを聞いた、古くから親しい提携生産者の親方からポツリと言われました。ハツとしました。この世界ならではの絶対的な関係（提携生産者との信頼関係）を気付かされ、その後父との関係が変わったきっかけです。

「販売先は時代によって変わるかも知れないが、ものづくりの先、生産工場との関係は変わらない」全国の提携生産者との関係をまず大事に考える父親の言葉。木竹産地問屋を継いだものとして重く受け止め、国内の木材加工・竹材加工の知恵や技術を生かすことが、酒井産業の最大ミッションと捉えるようになりました。

■「メッセージ」

一昨年、長野県のSDGs推進制度に登録しました。きっかけは、卸先の生活協同組合主催の学習会でその概念を知ったことで、大きく変容する社会、これからの事業の中で不可欠なものだと感じたからです。森林資源の活用や木竹製品の国内生産を持続的に行うこと



木・竹・漆器製品取り組みマップ



は、SDGsの多くのゴールと親和性が高いことも改めて自覚しました。

全国の木竹加工生産者とのさらなる連携強化と合わせ、今後力を入れていきたいことは、リアルとリモートを組み合わせ消費地（者）と産地を繋ぐこと（森や木を感じ（るツアー）と、ものづくりに参加しながら木を学ぶ体験（グリーンウッドワーク等）です。

製品を右から左に届けるだけの仕事では先が無いと感じています。DXなどデジタル処理化が進むほど、その真逆のところにも面白い世界が広がるように感じ、その場所でも活躍できればと思っています。

○連絡先

酒井産業株式会社

〒三九九一六三〇一

長野県塩尻市長瀬二二〇七二二

TEL 〇二六四一三四一三三三三

ホームページ

http://kiso-

sakaisakurane.jp/

